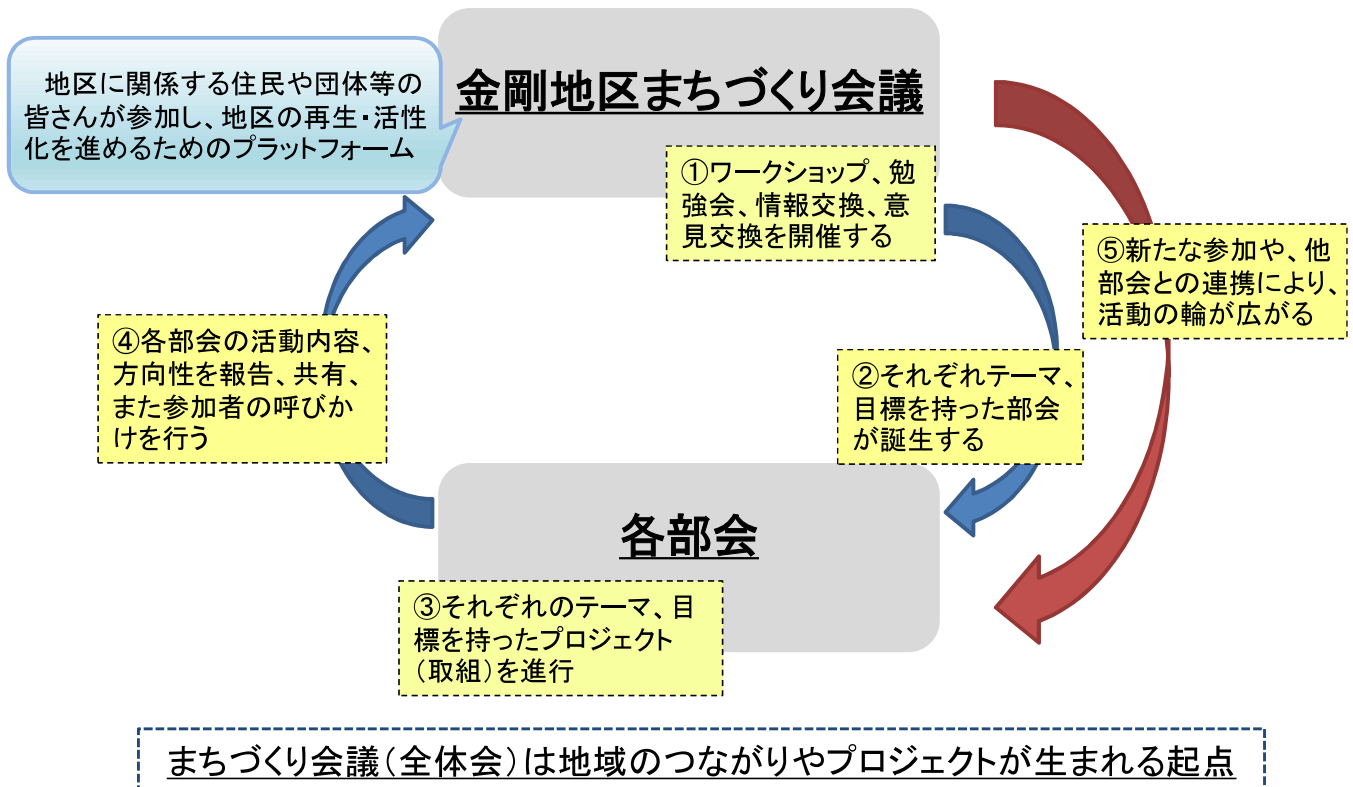


3. 議事

(2) 金剛地区再生指針推進の取組について (令和元年度上半期)

まちづくり会議の運営方針



令和元年度上半期の活動フロー

金剛地区まちづくり会議(全体会)

5/19
第1回全体会

6/29
第2回全体会

10/6
第3回全体会

3つの新たな
検討グループが誕生

3つの検討グループが
正式に「部会」として発足

各検討グループの会議

7月
第1回会議

8月
第2回会議

9月
第3回会議

【第1回 金剛地区まちづくり会議(全体会)】

【日時】5/19(日)10時~正午
【参加者】25人

これまでの金剛地区まちづくり会議の活動等について共有した後、各取組のふりかえりとともに、今年度どのような活動に取り組むべきか、どのような方向性の議論を進めるべきか等について意見交換を行いました。



まちづくり会議で「こんなことをしたい」「このような方向性の会議にしたい」という意見がバラバラに出る。

当日の意見等

- ・バルなどのイベントの効果的なPRを！
- ・軽トラマルシェの集客をアップ！
- ・中長期的なまちづくりについての検討！
- ・自分たちでできることを共有する！
- ・地区内の活動を線で繋げる！ など

メンバーそれぞれの意見を整理する必要がある・・・

意見整理のために「こんなことやりたい！」シートを事前記入してもらうことに

【第2回 金剛地区まちづくり会議(全体会)】

【日時】6/29(土)10時~正午
【参加者】23人

まちづくり会議でどのようなことに取り組みたいか、シートをもとに意見を整理した上で、意見交換を行い、**金剛地区まちづくり会議で取り組むプロジェクトテーマ**を話し合いました。



グループごとに各参加者が、「まちづくり会議でこんなことをしたい」という思いを発表



グループごとに「自分たちでできる・実現したい企画」を考え、まとめる



グループで集約した企画を参加者全員へ向けて発表(※3つの企画の発表あり)



自身が参加し一緒に取り組みたいと考える企画を各自が選択



参加者一人ひとりが自ら取り組みたいと考える**新しいテーマ**が**3つ**立ち上がる！

●新たに生まれた3つのテーマ



ここから、それぞれのテーマに沿った会議が進められる。。。 6

拠点づくり&情報発信検討グループについて

参加者数12人

拠点づくりプロジェクト

地域住民の居場所となる拠点づくりのために、

- ・拠点となる場所を探す(空き家や空き店舗など)
- ・拠点を使用する方法を考える(借用方法など)、
- ・拠点を活用する仕組みを考える(日替わりオーナーカフェなど)

(目的)

- ・子どもから高齢者まですべての世代の居場所づくり
- ・担い手の拠点としての居場所づくり



情報発信プロジェクト

金剛地区で行われている様々な活動等の情報発信をするため、

- ・金剛地区まちづくり会議を情報発信の拠点とし情報収集
- ・紙面づくりやFacebookの活用等により情報発信

(目的)

- ・営利、非営利に関係なく、様々な情報を発信できる仕組みづくり



拠点づくり検討グループについて

	会議内容
<p>第1回会議 7/19(金)13時~15時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが居場所となる場所を創出する仕組み(案)を提案、解説。 ・さまざまな拠点づくりの事例を調査していく必要がある。
<p>ひがしまち街角広場視察 8/5(月)11時半~17時半 ※現地視察13時~15時半</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がボランティアで運営している「ひがしまち街角広場」を視察。 ・千里NTの成り立ちや居場所の運営方法等について学ぶ。
<p>第2回会議 8/23(金)13時半~15時半</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視察を踏まえ、別の居場所事例(コモンカフェ)について勉強。 ・今後は、自主運営の知恵や、組織の立ち上げ方、資金の集め方なども学んでいく必要がある。
<p>第3回会議 9/27(金)9時半~12時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木氏(近畿大学建築学部教授)を講師に招き、勉強会を開催。 ・当事者(住民等)による居場所づくりについて学ぶ。 ・今後は、来年度4月以降の助成金・補助金取得を目指して、取り組む。

ひがしまち街角広場視察

【日時】8/5(月)11時半～17時半 ※現地視察13時～15時半
 【参加人数】メンバー9人、事務局3人

●ひがしまち街角広場とは

⇒千里NT(豊中市新千里東町)にて、地区の近隣センターの空き店舗を活用して、地域住民が運営する地域の居場所



月～金11時～16時オープン



飲み物1杯100円
(お気持ち料)



スタッフは約15人の無償ボランティアで運営



利用者は1日平均40～50人



情報発信検討グループについて

	会議内容
第1回会議 7/19(金)13時～15時	・情報発信の在り方や何が必要かを意見交換。 ⇒紙媒体、ネット媒体両方で情報発信をしていくことが大切！ ⇒行政での情報発信が難しい活動団体等を拾い上げて、情報発信していくが必要！
第2回会議 8/23(金)13時半～15時半	
第3回会議 9/27(金)9時半～12時	①紙媒体 → 既存の「金剛地区まちづくり会議ニュースレター」を活用 ②ネット媒体 → LINE公式アカウントの活用を検討
ニュースレター編集会議 10/4(金)13時半～15時半	・ニュースレター第5号の掲載内容について検討。 ・今後は情報発信プロジェクトでニュースレター編集会議を行っていく。

総合まちづくり検討グループについて

参加者数16人

総合まちづくりプロジェクト

- ・寺池公園、金剛中央公園、ピュア金剛跡、駅前～ふれあい大通り、緑のネットワークなどについて、ソフト・ハード両面の視点で中長期計画を検討する
- ・中長期計画の検討と同時に、桜の植樹プロジェクトや森の小さな図書館の設置などの身近なプロジェクトを並行して取り組む。

(目的)

- ・公共空間等の魅力を向上し、若者呼び込みを進める。



全3回の検討会議を開催し、部会の設立趣旨、取組の方向性等について検討

【取組イメージ・考え方】

- 中長期的視点で、都市魅力の創出、若者居住の促進、コミュニティの活性化、シビックプライドの醸成について考える。
- 他の部会とも連携し、身近なプロジェクトを起こしながら、発信力を高め、活動の輪を広げる。
- 参加する仲間を増やし、多様な意見・取組みを活かしつつ、施設の再整備や公共空間の再編等による地域の魅力の向上について、住民知識の向上や意識醸成に取り組む。

市全体としての都市戦略の中に「金剛地区再生まちづくり」を位置付けたうえでの検討が必要。

11

総合まちづくり検討グループについて

	会議内容
<p>第1回会議 7/15(月)10時～12時半</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者の選出 →中心となるメンバー2人が、共同代表を担う。
<p>第2回会議 8/18(日)10時～12時半</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制の構築 →Line、メールを活用し、参加者間で会議の日程調整や連絡等ができる仕組みを検討。 ・会の設立趣旨、取組の方向性等について検討；
<p>第3回会議 9/21(土)18時～20時</p>	<ul style="list-style-type: none"> →未来につなぐ、戦略的、中長期的視点のまちづくりを、ハード・ソフトの視点から総合的に進めるため、部会として、継続した検討を進める。

12

【第3回 金剛地区まちづくり会議(全体会)】

【日時】10/6(日)10時~正午
【参加者】19人

どのようにプロジェクトの実現に向けた検討会議が進められているのか、参加者全員で共有し、新たな部会が2つ立ち上がりました。

(1)

参加者より「新たなプロジェクト」の進捗状況や今後の検討内容について報告(資料等も参加者による作成)
→部会として承認し、新たな参加者を募集する



「総合まちづくり部会」「拠点づくり&情報発信部会」
の2つの部会が新たに発足しました。

(2)

その他既存部会、地域で行われている取り組みを各参加者より報告、共有



※11、12月を目途に会議を開催予定
○公園活用部会 ○居場所づくり部会
○防災活動部会 ○イベント企画部会



金剛地区まちづくり会議

新たな部会

総合まちづくり部会

拠点づくり&情報発信部会

※「自主運営」、「自主活動」を原則に活動を展開しつつある

既存の部会

居場所づくり部会

イベント企画部会

公園活用部会

防災活動部会

※今後、具体的な活動内容の整理やその為の組織体制づくりが必要

毎月 軽トラマルシェ (金剛銀座商店街)



●7月・8月
Kid's Summer Festa
人形すくいやヨーヨー釣り。
かき氷やポップコーンの販売。



●10月
ザッカフェとのコラボ
家庭で使わなくなった物や
まだまだ着られる洋服、
小物やバッグなどの出店。



富田林市の生産者による野菜や、雑貨等の販売をはじめとした催し。

＜主催＞
金剛地区まちづくり会議
＜日時＞
毎月第4土曜日の午後
※野菜販売は、夏季16時～、冬季15時～
＜会場＞
金剛銀座商店街
＜来場者数＞
毎回100人前後



＜状況の変化＞
まちづくり会議からのお手伝いスタッフが増えた。
＜課題＞
出店者数が少ない。
来場客数が減ってきている。
夏場は野菜が少ないときがある。
毎月開催はしんどいとの声がある。

金剛地区まちづくり会議による情報発信 (にぎわい金剛の発行)



「金剛地区まちづくり会議」の活動テーマである情報発信の一環として
ニュースレター「にぎわい金剛」を発行。

(1) 予算等
・印刷製本費：市委託金から支出
※年2回発行(過去5回発行済み)
→印刷製本費(1回分) = 17,100円/4,000部

(2) 編集・発行等
・まちづくり会議(拠点づくり&情報発信部会)が
中心となって、編集・発行等を行っている。

(3) 配布方法
・各施設への設置
・町会への配布依頼
・まちづくり会議有志による配布

(4) 10月発行分の内容
・金剛バル(11月24日開催予定)
・まちの居場所マップ
・総合まちづくり部会、拠点づくり&情報発信部会の活動
・ロペカフェの運営についてのコラム など

金剛地区のまちの話題

H31.4.7 寺池公園の様子

桜祭り(寺池公園)

- 平成31年(令和元年)は、例年開催されているさくら祭り(東側)にあわせて、北側・南側でも開催。
⇒寺池公園を周遊して楽しめるイベントとなった。
- 開催日は、一部道路(黄色部分)が歩行者天国となる。



- 北側 主催:寺池台一丁会
…パラソルカフェ(コーヒーの提供)



- 東側 主催:金剛団地自治会
…歩行者天国(桜を楽しめる空間の創出)



- 南側 主催:寺池台五丁目自治会ボランティア倶楽部
…桜サロン(コーヒー、抹茶やお菓子などの提供)



金剛地区のまちの話題

Café&Lunch ロペ



元々地域の方の居場所であったカフェが、現在空き店舗に。その空き店舗をオーナーが地域の方に貸しスペースとして開放。

- <主催>
- ・ロペのオーナー
- ・地域のコーディネーター役1名
- <使用料>
- レンタル料:500円/1h

<現在の使用状況>

名称	日程
ロペカフェ	第2水曜日
久野喜台けやきの会	第1月曜日
津軽三味線&ゴッタン教室	第1・3火曜日
押し花教室	第1・3金曜日
そば打ち会	第3月曜日
合唱パート練習	金曜日(不定期)
自治会等の会議	夜間(不定期)

もちより晩ご飯会



一人一品ご飯を持ち寄る、食事を通じた交流の場。

- <主催>
- Kotona
- (NPO法人ふらっとスペース金剛)
- <協力>
- 金剛地区まちづくり会議
- <日時>
- 毎月第4土曜日の17:00~
- (軽トラマルシェ終了後)
- <参加者>
- 毎回10名前後

11月24日 金剛バル☆WinterLand2019、親子ふれあい祭りに参加予定

●金剛バル☆WinterLand2019
 主催:金剛にぎわい創出実行委員会
 ○まちづくり会議は、前日準備に参加予定。

●親子ふれあい祭り
 主催:金剛銀座商店会
 ○まちづくり会議は、ポップコーン販売や
 ペットボトルツリーの設置、会場誘導整理
 などに参加予定。



まちづくりサポーター育成講座

昨年度に引き続き、新たに金剛地区でまちづくりを進める人材の発掘・育成のため、
連続3回講座まちづくりサポーター育成講座「公園づくり」からはじめる「まちづくり」を開催。

●今年度は、継続的な開催を望む声があった
“寺池公園”をフィールドとした**「公園づくり」**を
 テーマに、全3回の講座を開催。

主催:市(まちづくり推進課)
 講師:NPO法人里山倶楽部 寺川氏

第1回 寺池公園の魅力を発見しよう
 フィールドワークを通じて、寺池公園の課題や可能性、新たな魅力を共有しましょう。

第2回 公園活用の企画を考えよう
 寺池公園の活用や魅力向上のために、自分たちで何ができるか考えてみましょう。

第3回 企画を実践してみよう
 これまでに考えた寺池公園を魅力いっぱいにする企画を実践してみましょう。

連続3回講座
2019 まちづくりサポーター 育成講座
 「公園づくり」からはじめる「まちづくり」
 本講座は、住民主体のまちづくりやその手法等を学び、まちづくりの担い手となる人材の掘り起こしや育成を目的として開催します。
 今年度は、金剛地区の魅力的なスポットである**寺池公園**をフィールドとして、身近なレクリエーションの場や水辺と縁を築き始める**公園づくり**を選び、まちづくりについて学びます。
受講料:無料(事前申込制)
1. 寺池公園の魅力を発見しよう
 10月26日(土) 9:30~12:00
 フィールドワークを通じて、寺池公園の課題や可能性、新たな魅力を共有しましょう。
2. 公園活用の企画を考えよう
 11月2日(土) 9:30~12:00
 寺池公園の活用や魅力向上のために、自分たちで何ができるか考えてみましょう。
3. 企画を実践してみよう
 5月開催予定
 これまでに考えた寺池公園を魅力いっぱいにする企画を実践してみましょう。
 ※日程・内容は、都合により変更する場合があります。
 ※持ち物: 集合場所の情報は、別途受講者に案内します。
主催 富田林市 まちづくり推進課
講師 NPO法人里山倶楽部
対象 20歳以上、3年以内の受講を希望します。半申し込み多数の場合は抽選。
会場 金剛連絡所2階大ホール、寺池公園 ※場所は当日により変更する場合があります。
講師 寺川 孝子さん (特定非営利活動法人 里山倶楽部)
申込 令和元年10月16日(水) JWD有知)までに、住所、氏名、年齢、電話番号を、
 富田林市まちづくり推進課(〒584-8511 高岡町1番1号1F) 0721-25-1800(内線452)
 FAX: 0721-24-0269、Eメール: matidokuricity.tondoyashi.jp.jp/へ

まちづくりサポーター育成講座

第1回目

日時:10月26日(土)9:30~12:00

参加者:9名(子ども1名含む)

テーマ:寺池公園の魅力を発見しよう。



①フィールドワークで、寺池公園の魅力や課題を発見する。



②ワークショップで魅力や課題を整理。



③公園を活用するアイデアを出し合う。

公園活用の企画アイデアの一つ
「樹木の名前プレートの作成」を行う方向で、話がまとまる。

実践に移す方向で、残り2回の講座を進める。